



～夢・未来へ～
町民と議会をつなぐ

第108号

令和8年1月21日

令和
7年

12月

3月

9月

6月

定例会毎に発行

河津町議会だより



河津寄って軽トラ市

- P. 2～P. 3 令和8年議員の抱負
P. 4～P. 5 出張！河津町議会
P. 6～P. 7 議会改革特別委員会
P. 8 定例会・臨時会

- P. 9～P.13 町政を問う
►一般質問（5人）
P.14 議会のうごき・常任委員会・
一部事務組合
P.16 私の一言

►河津寄って軽トラ市実行委員長／濱野 直人
►河津町商工会青年部長／飯田 喜治



YouTube で
議会映像配信中



河津町議会
WEBサイト

令和8年 議員の抱負



新年あけましておめでとうございます。町民の皆様には輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は日本初の女性総理大臣が誕生し、河津町においても新町長が誕生となり、国も当町も新しいスタートの年となりました。

新町長は所信表明で「動く、動かす、やってみる」のキャッチフレーズのもと六つの重点施策を示しました。新しい取り組みにワクワクします。

議会として町の取り組みをチェックしながら議論に取り組みたいと思います。議会は今年選挙の年です。町民の皆様におかれましては、希望溢れるまちづくりのため議員にチャレンジしてはいかがでしょうか。ぜひまちづくりに参加してください。

河津町議会をよろしくお願ひいたします。

新年あけましておめでとうございます。町民の皆様には輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は日本初の女性総理大臣が誕生し、河津町においても新町長が誕生となり、国も当町も新しいスタートの年となりました。

新町長は所信表明で「動く、動かす、やってみる」のキャッチフレーズのもと六つの重点施策を示しました。新しい取り組みにワクワクします。

議会として町の取り組みをチェックしながら議論に取り組みたいと思います。議会は今年選挙の年です。町民の皆様におかれましては、希望溢れるまちづくりのため議員にチャレンジしてはいかがでしょうか。ぜひまちづくりに参加してください。

河津町議会をよろしくお願ひいたします。



渡邊 弘 議長



遠藤嘉規 第2常任委員長

今年は第17期議会ゴールの年。議会は、町民が住みやすい町を、自らの手で実現するための手段。年齢、性別問わず多様性が大事だと思います。議会改革を進め、女性や若者が選挙に出て活動しやすい議会を目指して、少しでも前進出来たらと思います。

個人的な目標は、体重が最大なので元に戻し、趣味を再開できたらいいなあ。



北島正男 第1常任委員長

● ● 「みんなでみんなの盆踊り」の恒例化。移住者で現介護士。マーケティングや障害者関連に携わった経験を活かし、多面的な活動をする。

● ● 練習中の楽器「二胡」を弾いて老人施設の皆で一緒に歌う。



桑原 猛 副議長

副議長として議会に携わり、活発な議会を目指し下支えに努めてまいります。議会改革特別委員長を兼任している中、議員のなり手不足解消、災害時の議員の行動など次の世代に継なげる議会を目指します。



上村和正 第1常任副委員長

今年の干支は「午年」です。「老いたる馬は、道を忘れず」長年の経験を積んだ人は、年を重ねても身につけた知識や技術、判断力を失わないという意味です。先輩方の声に耳を傾け、観光施策、地域医療、地域産業力で安心して暮らせる河津町づくりに取り組みます。

趣味の温泉とバイクでまだ見ぬ世界を見てみたい。



宮崎啓次 監査委員

地方自治にとりまして、経済的に厳しい時代が続いております。地方行財政の健全かつ効果的な運営が出来ますよう、議会選出監査として職務に務め、人口減少対策のための移住者支援や引き続き公共交通の問題点も取組みます。

私的には、現在の体力を維持しつつ、縁結びの女の神様、姫宮神社を地域の氏子の皆さんと盛り上げていきます。



渡邊昌昭 広報常任委員長

新たな町長を迎え、新しい年に、議会について町民の皆様に理解していただけよう積極的な広報活動を実施し、町政へのパイプ役になれるようチャレンジしていきたい。声をお聞かせください。個人的には時間を作つて、無理をせず、健康に留意していろいろなことをやっていきたい。



福沢宏幸 議員

河津町議会議員として、若さと行動力、そしてまっすぐな言葉を大切にし、町民のみなさんの声に一番近い存在として、河津町の可能性を引き出すため全力で取り組みます。

プライベートでは体調管理を徹底し、健やかで行動力ある身体づくりにも励んでいきます。



稻葉 静 議員

野に咲く一輪の花の様に、人生は一日一日の積み重ね。何よりも今、この瞬間を精一杯生きること。

人との出逢いと同じように、言葉との出逢いが人生をえていくことを実感する。継続こそ最高の才能。諦めない努力こそ未来を切り拓く。

新たな年を迎え、健康に留意し、町の発展と町民のしあわせを願いつつ。



正木誠司 広報常任副委員長

実は河津桜も河津桜の故郷である我々が住む河津町も、日本中の若い方々の知名度はそんなに高くありません。知名度が低いことをチャンスと捉えてもっとSNSで魅力を発信してアピールして河津町に多くの方に来てもらいましょう。

個人的目標は、今年も健康第一で過ごし、昨年より更にスリムになるよう頑張ります！

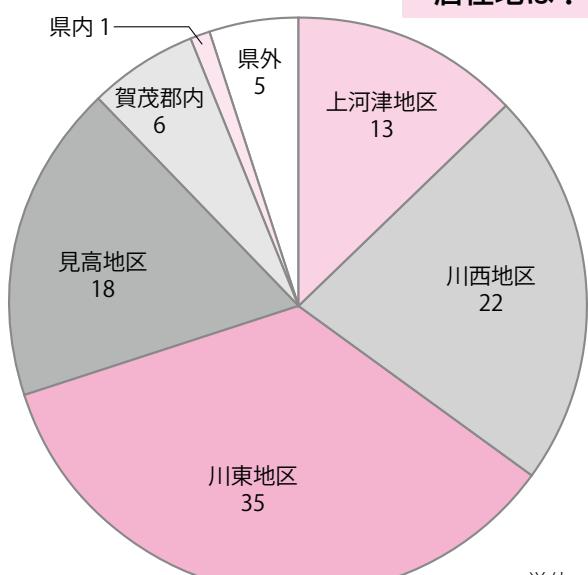
出張！河津町議会 Part2

～あなたの声を聞かせて～

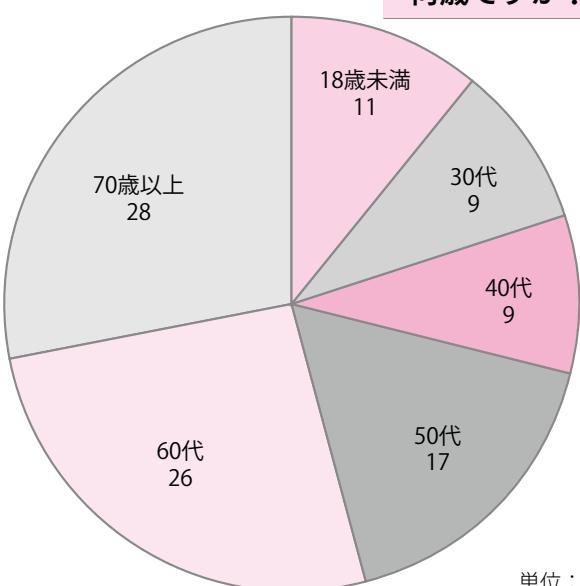
in 第48回 河津寄って軽トラ市

9月開催の河津寄って軽トラ市に町議会として参加し、アンケートをさせていただきました。
その結果をお知らせします。

居住地は？



何歳ですか？



お土産には何を持って行く？

1位 わさび・わさび漬け

2位 みかん・柑橘類

3位 干物

4位 踊り子まんじゅう

5位 チーズどら焼き

- ・温泉塩 ・ジビエを使ったペットフード
- ・踊り子の菓子 ・ニューサマーゼリー
- ・バターどら焼き ・キンメの煮付けパック
- ・河津桜のお菓子 ・七滝の風鈴

河津町のおいしいものは？

1位 わさび・わさび製品色々

2位 みかん・柑橘類

3位 干物・海産物

4位 和洋菓子類

5位 うなぎ料理

- ・肉チャーハン ・鹿肉や猪肉
- ・スガニ ・海鮮丼
- ・小麦まんじゅう ・チーズどら焼き
- ・担々麺 ・旬の地野菜
- ・サザエ丼 ・屋台ラーメン etc

新たな名物を作るとしたら？

- ・日持ちするお菓子
- ・日持ちするチーズどら焼き
- ・マンゴーやアボガド・バナナ等の熱帯のフルーツ
- ・天城甘茶を使った製品
- ・鹿肉や猪肉でジビエ料理
- ・柑橘類を使ったジャムや菓子
- ・わさびの辛味を活かした商品
- ・海を活用したアクティビティー
- ・河津川の天然素材料理
- ・川津来宮神社をもっとアピール

河津町の特産品と言えば？

- 1位 わさび・わさび製品
 - 2位 みかん・柑橘類
 - 3位 カーネーション
 - 4位 干物
 - 5位 天城甘茶
- ・絹さや・花菖蒲・河津川の鮎
 - ・スガニ・ニューサマーオレンジ
 - ・定置網の新鮮な魚（特にアジ）
 - ・伊勢エビやアワビ・さざえ

子どもたちに聞いてみました！

* 河津町に新しく何が欲しい？

- ・思いっきり遊べる広い公園が欲しい！
- ・河津桜のキーholderやアクセサリー
- ・アイスクリームやソフトクリームの専門店
- ・一日中遊べて買い物ができる「ららぽーと」
- ・スタバやマクドナルドや気軽に入れるカフェ
- ・「ローソン」限定販売のチケット等がある。

今は、わざわざ下田まで行ってるから大変！



アンケートにご協力いただき本当にありがとうございました。

皆さまから頂いたご意見を町内の関係団体等へ広く周知し、河津町がもっともっと良い町となるよう、今後も頑張っていきますのでよろしくお願いします。

今後も軽トラ市でアンケートの機会を作りますので、多くの方の意見をお寄せください。

（広報常任委員長）

議会って？

求人票に例えてみました

議 会
改 革

職種：河津町議会議員

仕事の内容：

- ・3月、6月、9月、12月の定例会での議案等審議、一般質問
- ・その他の出席及び開催する会議体
臨時会、議会運営委員会、議会全員協議会、議員説明会
- ・第1常任委員会、第2常任委員会、広報常任委員会の活動
- ・定例会の無い月に資質向上のための勉強会等を行なう月例会
- ・議会改革特別委員会 毎月1回開催
現在、議員のなり手不足の解消に向けた協議を進行中
- ・一部事務組合（他市町との共同運営）の議会議員
東河環境センター、下田地区消防組合、伊豆斎場組合、下田メディカルセンター
基本的に2月、8月に定例会開催
- ・行政等から依頼のあった催事等への出席

仕事内容

任期	4年間（次回選挙は令和8年9月ごろ）	
就業場所	〒413-0595 静岡県賀茂郡河津町田中212-2 最寄り駅（ 河津 駅）から [<input checked="" type="checkbox"/> 徒歩15分 <input checked="" type="checkbox"/> 車で（ 3 分）]	
マイカー通勤	<input checked="" type="checkbox"/> マイカー通勤可 <input checked="" type="checkbox"/> 駐車場あり	
年齢制限	25歳以上	
学歴	<input checked="" type="checkbox"/> 不問	
必要な経験・知識・技能等	<input checked="" type="checkbox"/> あれば尚可 <input type="checkbox"/> 不問	（スマートフォン使用）
必要なPCスキル	Wordができるとありがたい	
必要な資格	日本国籍を有し、河津町に3か月以上住所があること（その他公職選挙法に準ずる）	

報酬・手当

基本給(a)	202,000円～295,000円 ※議長・副議長・各常任委員長は役職手当含む		
賞与	<input checked="" type="checkbox"/> 制度あり → <input type="checkbox"/> 制度なし	前年度 <input checked="" type="checkbox"/> あり → <input type="checkbox"/> 実績 <input type="checkbox"/> なし	支給回数：年 2回 賞与月数：計3.68ヶ月分 賞与額743,360円～1,085,600円

労働時間

就業時間	10時00分～17時00分		
	就業時間に関する特記事項：会議体が開催される場合（議員としては年中無休）		
休日等	会議規則による（疾病、忌引き、産休制度あり）		

年金・定年等

無し

・右記の仕事内容の補足

定例会

四半期ごと開催され、特に3月の定例会は翌年度の予算審議、9月の定例会は前年度の決算審議を行うため、議員全員による特別委員会をそれぞれ設置し、延べ2週間程度の期間を要する。

常任委員会

所管する課の業務について自主的にテーマを設定し、調査研究を行う。

第一常任委員会は国民健康保険運営協議会の構成員。第1、第2常任委員長は各種町組織の委員会等の構成員。

※議長は賀茂郡議長会、静岡県町村議会議長会、全国町村議会議長会の構成員となつている。

議員になつたら何ができるの

議員のコメント

町のために何とか役に立ちたいとの思いだけで議員を目指したが、いざなつてみると、右も左もわからない状態で議会の一員になった。先輩議員から助言をもらい、また同期議員とも意見交換をしながら活動を行っている。

議員のコメント

町民の皆様からいろいろお声掛けしてもらっているのに、実現できないことが悔しい時もあります。でも行政と協議することで声を届け続けることが大事だと思います。また町民の皆さんに正確な情報を伝えるように心がけています。

各課に相談する等、行政への働きかけを行います。（要望、陳情、請願が段階的にあります）
また、議員には定例会での一般質問の機会があり、町民からの意見等を自分なりに判断し、行政に質問したり、行政に正してもらいたい事柄を問う権利を有しています。

役場との関係性は

議員のコメント

年間80日程度の公務がある。議員になる前と比べ町の様子や、政治に関心が深まり、やりがいのある仕事として取り組んでいる。下世話ではあるが子育て中の別収入は結構助かった。

役場Ⅱ行政機関が提案したものを見、町や市民の為に最善かを議論して議決するのが議会です。よく言われるのが「行政、議会が両輪になつて町政を前に進める。」と表現されるように、行政と議会は住みよい町をつくるためにそれぞれの立場で町政に取り組んでいます。

- ・議員定数削減
- ・議員報酬について検討を依頼
- ・アプリを使ったスケジュール管理、情報共有、内部文書のペーパーレス化
- ・議場へのデジタル機器持ち込みの自由化
- ・複数会議の同日開催
- ・委員会のオンライン参加
- ・議会だよりを定例会後翌月発行
- ・SNSによる情報発信
- ・ホームページ見やすさの追求
- ・一般質問をコーチュー
ブルで配信
- ・常任委員会活動の活性化
- ・民間団体と実証実験の実施

なり手不足解消のために改革したこと

令和7年第4回定例会（抜粋）

令和7年第4回定例会が、12月9・10日に開催され、議長から諸般の報告、町長の所信表明と行政報告、議員5名による一般質問が行われた。 次に、条例案件1件、補正予算4件、同意案件1件の6議案を審議し、同意・可決した。

町長の所信表明と行政報告（抜粋）

大川良樹新町長　——行政報告——

所信表明

「動く」動かす やつて「動く」のキヤッチフレーズのもと、スピード感をもつて変革を行い、次の世代に向けて持続可能な町にしていく。そのための6つの重点施策

- 河津桜発祥の地として磨き上げとアライド構築
- 稼ぐ自治体の体制づくり
- 1次産業の活性化協力と6次産業化への支援
- 新たな交通システムの構築
- 活気ある地域コミュニティの再生
- 伊豆縦貫自動車道の早期開通と町内アクセス道路の整備促進
- これららの現状を把握し町民、関連団体、事業者、議会、町職員が一丸となつて町政を進めていく。

● 財政調整基金の運用をして額面1億円で3年満期の国債を購入

● 地域おこし協力隊

● 地域福祉事業を主に藤塚美佐子隊員に、移住定住促進事業を主に前田優奈隊員に委嘱し5名体制とした。

● 地域防災訓練

● 陸上自衛隊滝ヶ原駐屯地隊員による訓練を実施していただいた。

● 町民文化祭

● 1,275人が来場され、主催の町文化協会と関係者に感謝します。

● 教育長の任命
鈴木弘光氏を再任

● しづおか市町対抗駅伝競走

● 第3回11月20日

● 4か月間練習を積んだ12名が出場。町の部8位、ふるさと賞受賞。選手、監督、コーチ、関係者に感謝と、応援の旨さまざま御礼申し上げます。

● 一般会計補正予算
歳入歳出4,632万円を追加し予算総額を48億879万6千円とした。
(主な内訳)

● 行政事務包括業務委託料、障害者支援費、帯状疱疹予防接種扶助費、上

佐ヶ野水路修繕料、河津

桜まつりライトアップ補

修、中学校武道場の修繕

料、給食センター排水処理修繕料。

● 国民健康保険・介護保

険の特別会計補正予算と水道事業の補正予算を可

決。

● 教育長の任命

鈴木弘光氏を再任

● しづおか市町対抗駅伝競走

● 第3回11月20日

● 4か月間練習を積んだ12名が出場。町の部8位、ふるさと賞受賞。選手、監督、コーチ、関係者に感謝と、応援の旨さまざま御礼申し上げます。

● 補欠選挙で当選した福沢宏幸議員の議席番号の決定、常任委員の選任と

東河環境センター議員選挙を行つた。

臨時会

同意・可決された議案



福沢宏幸議員

この度、河津町議会議員として新たな一步を踏み出すにあたり、河津町が持つ魅力や可能性、そして大きな伸びしろをさらに多くの方に知つていただき、移住・観光・インバウンドの流れを強めることで町全体の活性化につなげたいと考えています。人が集まり、にぎわいが生まれることで、河津町民のみなさんのモチベーションも必ず高まるはずです。河津町の未来のため、そして町民のみなさまの力となれるよう、これから必死に走り抜いていきます。

どうぞよろしくお願ひ致します。

町政を問う

一般質問



きたじままさお
北島正男議員

動画にて
議会の様子が
ご覧頂けます



稼げるまちとは

まず、町内の移動交通手段を昼夜充実させると、→外出する人が増える→飲食や小売りの起業や営業が活発化→そうなると→近隣からも人が来る→町の消費が高まる→宿泊業は、泊と食の分離が可能で利益向上→商業を通じ農水業が活況→町民の収入が増える→そうすると→結婚する気になる→赤ちゃんが増える→人口が増える→そうなると→そんな稼げる便利な町には、転入者も増える→そうすると→空き家を貸せる→放棄農地も借りたい→町民全体の所得が増え納税も増える→役場は福祉に充てる→そうなると町の人の笑顔が増える。
という連鎖の方程式が可能になる。そうなるといいな。

官民協働での「稼げるまちづくり」 こうなれば素晴らしい。

質問 役場が稼ぐと 稼げるまちづくりは

質問 財源は厳しく、様々な手法を考える

質問

町民の税金や地方交付税以外に国・県から予算を引き出す企画力が必要。また、町有財産の活用、ふるさと納税拡大など稼ぐ方法は色々ある。町長の言う稼ぐ自治体の指向性とプランは。

を目標にしたい。

総務課長 観光庁補助の獲得をはじめ、補助事業を確認しつつ関連団体と共に事業を進めていく。

また、民間企業の誘致や官民連携型体制づくりに努める。

町長 町税は10億円を切り、今後入湯・宿泊・観光等の各税を検討。ふるさと納税は、2億円

質問 質問 町民の所得や雇用の増加で町の活況を高める「稼げるまちづくり」を官民でどう作るか。

現河津町は、マンパワーと予算に限界があると感じ、※「地域活性化起業人」の制度の活用を検討し、スタートアップ企業の発掘、実証実験の応援などに取り組む。

質問 バガテル公園の管理とこれから

質問

答え 年度内に指向性を決めたい

質問

管理会社撤退後、町の人によるNPO的な

考え方年度内に指向性を決める議会などに意見を伺う。

※三大都市圏企業の社員を地方自治体に派遣し、地域課題解決に従事する制度

質問

事業体で管理し、河津町のお金は、地元で循環させる「稼げる町」の一環と考えたい。また、管理

企画調整課長 現指定管理者は黒字化が難しいとの経営判断により撤退となつた。

現河津町は、マンパワーと予算に限界があると感じ、※「地域活性化起業人」の制度の活用を検討し、スタートアップ企業の発掘、実証実験の応援などに取り組む。

会社が撤退した経緯は、

町長 基本的な土地のこ

とや、将来構想により、新たな施策を考え方向を見出したい。

会の意見や、予算編成にも関わるが、存続・憩いの場・企業誘致など色々

質問 一部に町民の遊具公園や観光誘客と建物活用の再構築、バラの守り人ボランティアで町民参画など、あらゆる改革

町長 事業再生検討委員会が撤退した経緯は、

基本的な土地のこ

とや、将来構想により、新たな施策を考え方向を見出したい。

他「労働力減少の補い方」一件

町政を問う

一般質問

静岡県	河津町	町立東小学校	賀茂郡河津町見高1032番地ほか
・伊豆急行今井浜海岸駅より車で約2分(約1.3km)	問い合わせ先	河津町総務課 財政係	TEL 0558-34-1913 E-mail soumu@town.kawazu.lg.jp https://www.youtube.com/watch?v=Va8CdZPkHxA

用途地域	土地面積 (m ²)	構造・竣工年 施設区分	建築面積 (m ²) 延床面積 (m ²) 階数	募集内容	貸与・譲渡条件等	備考
指定なし (非線引き区域)	9,224	鉄筋コンクリート造 鉄骨造 鉄筋コンクリート造	1,791	利活用事業者の募集		<ul style="list-style-type: none"> 新耐震基準 令和5年3月閉校 敷地内に防災行政無線子局あり 地域振興に寄与すること 災害時には避難場所、避難所として利用できること 一部施設の利用について配慮すること <p>・校舎2,965m² 体育館630m² フール</p> <p>・校舎:3 体育館:1 その他</p> <p>・校舎等の外観写真 校舎等の平面図 現地環境等が現実的にわかるもの</p>



わたなべまさあき 渡邊昌昭議員

動画にて
議会の様子が
ご覧頂けます



みんなの廃校プロジェクトHPより

質問 旧東小と旧西小は廃校となり3年が経とうとしている。旧東小はドローンスクールで募集し、旧西小はみんなの廃校プロジェクトに掲載されたが、これまでの経緯は。

総務課長 旧東小は事業説明会、現地説明会の参加申し込みがなく、みんなの廃校プロジェクトに

防災課長 旧東小は本年7月の地震の津波警報により避難者40人を受け入れた。

教育委員会事務局長 旧東小の資料展示室は年

町長 民間企業を取り込み、トップセールスを行い、検討委員会の答申に沿って進め、5年をめどに再検討をする。

質問 農業の振興対策は

答え 後継者対策や補助制度も検討する

質問 農業の後継者支援についてどのように考えますか。

町長 着実に経営が成り立つことが重要であり、農業者だけでなく、商工業者の後継者対策もあわせて検討したい。

質問 農産物や加工品などを河津ブランドとして発信することが必要だと

質問 廃校（旧東小、旧西小）について

答え 答申に沿つて進める

質問 所信表明の中にあった「1次産業の活性化」

町長 ブランディングの発信はJA等関係機関と協力して進めたい。情報発信についても都市と農村交流事業や各種イベントの出展、情報発信に努めたい。

質問 産業の活性化について進めるが、河津ブランドに対する町長の考えは。

町長 ブランディングの発信はJA等関係機関と協力して進めたい。情報発信についても都市と農村交流事業や各種イベントの出展、情報発信に努めたい。

質問 農業の後継者支援に対する町長の考えは。

町長 ブランディングの発信はJA等関係機関と協力して進めたい。情報発信についても都市と農村交流事業や各種イベントの出展、情報発信に努めたい。

質問 農業の振興対策は化協力と6次産業化にかけた支援」とあるが、その詳細と具体案は。

町長 産業の活性化については農林水産物や新たな産品の開発等民間事業者の協力を得て行っていく。都市と農村交流事業にて、農作業体験と併せて、ツアーパッケージの商品化を進める。

町政を問う

一般質問



個人ボランティア頼りの猫たち



まさ き せい じ 正木誠司議員

動画にて
議会の様子が
ご覧頂けます

質問

河津町の動物愛護の取り組みは

答え 現状のまま

質問

猫の不妊・去勢費用について、現在は1／2相当額を補助している

が、保護猫等の各種費用について個人ボランティアが自腹で負担している。保護猫や飼育崩壊した猫の去勢・避妊手術費用について町で全額負担が出来ないか。

行つており、現在の補助金の額が妥当である。

質問

公益財団法人どうぶつ基金が自治体と協力して取り組んでいる「さ

くらねこ無料避妊手術事業」に登録して発行される無料の避妊手術券により、個人の負担を少しでも減らせないか。

質問

金の額が妥当である。

町長 県内全ての自治体が上限を設けて補助を用いて町で全額負担が出来ないか。

町長 現状で町に寄せられているのは、飼い主の

いない猫への餌やりによる通行支障や生活上の迷惑の苦情が多く、賀茂保健所へ通報し、県と共同で現地に出向き、無責任な餌やり行為等への指導を行つている。制度を利用しても現状の課題解決にはならないと思うので、他団体への加入は考えていない。

質問

高齢者が元気に暮らすためには

答え 役場が一体となり進める

質問

町が高齢者施策を

集まる場へ保健師、管理栄養士、理学療法士等が訪問して健康講座や健診結果に合わせた保健指導、助言を行つていている。

健康増進課長

高齢者が

進めるうえで高齢化率や

県独自のお達者年齢等の指標があるが、小規模自治体ではバラつきが大き

くあてにならない。町と

して独自の取り組みは。

町長 高齢者保健福祉計

画による各種施策をはじめ、役場各課が一体となつて取り組んでいく。

ど高齢者の孤立の予防、民生委員による見守り、外出支援の「つなバス」実証実験を行つてている。

今後も医療機関や介護機関と役場の各課が連携し、一体的・重層的に支援を進めしていく。

福祉介護課長 予防事業

として介護予防教室や認知症カフェの開催。生活支援として交流サロン開催、傾聴ボランティアな

いない猫への餌やりによる通行支障や生活上の迷惑の苦情が多く、賀茂保健所へ通報し、県と共同で現地に出向き、無責任な餌やり行為等への指導を行つている。制度を利用しても現状の課題解決にはならないと思うので、他団体への加入は考えていない。

事発生土の活用について」一件

他「伊豆縦貫自動車道工事発生土の活用につい

町政を問う

一般質問



うえ むら かず まさ
上 村 和 正 議員

動画にて
議会の様子が
ご覧頂けます



ブランド価値を高めた憲政記念館の河津桜

「河津桜発祥の地」としての磨き上げとリブランディングの構築」は、4年以内に河津桜まつり前後で1泊もしくは2泊で町内に泊まっていたとき、「サンキュー河津桜、これからも宜しく河津桜サミット」の個人的構想を持つている。河津桜のリブランディングについては認定制度を策定し、発祥地のブランド力を上げていきたい。

「稼ぐ自治体の体制づくり」は、宿泊税などを河津町にあつた形で検討する。ふるさと納税については、イズモのバックヤード体験ツアーや私の名刺の裏にふるさと納税のQRコードを付けるなど、新しい試みで納税総額2億円を目指とする。

質問 人口減少に歯止めをかける施策、地域医療、地域産業力、企業誘致や雇用の創出強化等を町民が求めていると感じるが。町長 地域活性化起業人制度の活用を検討したい。大きな工場誘致など

「一次産業の活性化と6次産業化に向けた支援」は、まずは県もスタートアップ企業への支援等の取組をおこなうというこので、単費でなく、国県の補助金等が利用できなかを模索したい。「活気ある地域「ミニユーティの再生」は、地域で行う「ミニユーティーション事業に対し支援の検討が出来たらと感じている。「伊豆縦貫自動車道路の早期開通と町内アクセス道路整備促進」は、関係各所との連携を図り、進めたい。

私は現状ではできないと考えている。ベンチャーなどのスタートアップ企業の実証実験等をチャレンジさせ、自治体の信頼を最大限活用し、スタートアップの成功事例を積み重ね、この町で起業をして頂き、実証実験のできることを考えている。地域医療は、町内医療機関と連携しながら守っていきた

い。 私だけでは何もできません。皆さんのがこの町を愛し誇りを持つてもらいたい、町のために頑張ろうという気持ちになつて、必然的にいいサイクルができると感じている。そう思つて頂けるように、町政を前に進めていきた

質問 所信の重点施策について

答え 皆さまと一緒に進めていく

質問 重点施策の具体的な内容は。

「一次産業の活性化と6次産業化に向けた支援」

は、まずは県もスタートアップ企業への支援等の取組をおこなうというこので、単費でなく、国県の補助金等が利用できなかを模索したい。「活気ある地域「ミニユーティの再生」は、地域で行う「ミニユーティーション事業に対し支援の検討が出来たらと感じている。「伊豆縦貫自動車道路の早期開通と町内アクセス道路整備促進」は、関係各所との連携を図り、進めたい。

私は現状ではできないと考えている。ベンチャーなどのスタートアップ企業の実証実験等をチャレンジさせ、自治体の信頼を最大限活用し、スタートアップの成功事例を積み重ね、この町で起業をして頂き、実証実験のできることを考えている。地域医療は、町内医療機関と連携しながら守っていきた

議会のつゝき



渡邊 弘議長



議会議長会事業 議長に要請のあつた諸会合など	3件
例月出納検査結果・定期監査結果の報告	14件
議会運営委員会 常任委員会	13件
議会改革特別委員会 その他議会活動	3件
賀茂地区議員研修会	1件
東京河津桜会総会出席	4件

常任委員会

第一常任委員会

第二常任委員会

下田メディカルセンター

東河環境センター

一部事務組合

14日間 17:30～22:30 実施
 乗車件数 99件
 乗車人数 239人
 町外やドイツ、中国の方も利用
 宿泊者の飲食、買い物も多い
 今後も運行して欲しい。意見多し

河津ザクライドの結果



Instagram QRコード



Facebook QRコード

● 将来構想調査
 特別委員会発足
 一組議会議員による病院運営や地域医療の課題把握を行っていく組織。そのため三重県鳥羽市の島しょ部が多い地域でのオンライン診療や、医療Maasを視察した。



圧縮アルミ缶

8万円。
 ナス403万円に対し令和6年度収支は1,24

自衛隊協力会理事会
 委員長出席
 第一回河津町社会教育委員会
 委員長出席

能登半島観察研修報告
 について協議
 能登半島観察研修報告
 について協議

常任委員会の開催
 10月10日
 11月20日
 12月2日
 能登半島観察研修報告
 について協議

議会全員協議会
 11月13日
 ● 次期指定管理者
 選定委員会の審議の結果、現指定管理者の審査は合格点に達していて、継続が適当であると説明を受けた。

第2回定例会
 9月24日
 ● 資源ゴミの再資源化
 の3議案審議し可決した。

対象施設は、下田メディカルセンター・同付属みどクリニック・介護老人保健施設なぎさ園で、指定管理者は医療法人社団静岡メディカルアライアンス。指定管理の契約は、令和9年からの6年間。

● 資源ゴミの再資源化
 6年度は圧縮アルミニウム及び新聞（資源）、鉄スクラップの高騰などにより大幅に販売額が伸びた。令和5年度収支は、マイナス403万円に対し令和6年度収支は1,24

議会だより第108号 読者アンケート

締め切り
2月末日必着



スマホで簡単に
アンケート回答
ができます

- 送付先：〒413-0595 静岡県賀茂郡河津町田中212-2
河津町役場 議会事務局
※切手代などは各自ご負担願います。

Q1 「興味を引いた」あるいは「役に立った」記事は？

Q2 「議会だより」の記事で目を通したものは？（□にレ点をつけてください。
複数回答可）

- | | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> P. 2～P. 3 令和8年議員の抱負 | <input type="checkbox"/> P. 8 定例会・臨時会 |
| <input type="checkbox"/> P. 4～P. 5 出張！河津町議会 | <input type="checkbox"/> P. 9～P. 13 町政を問う(一般質問) |
| <input type="checkbox"/> P. 6～P. 7 議会改革特別委員会 | <input type="checkbox"/> P. 14 議会のうごき・常任委員会・
一部事務組合 |
| | <input type="checkbox"/> P. 16 私の一言・編集後記 |

Q3 議会だよりに対する満足度は、どのくらいですか？（□にレ点をつけてください。）

1. 大変満足 2. まあまあ満足 3. もう少し 4. 不満

Q4 議会だよりの記事への感想、取り上げてほしいテーマなどがあればご記入ください。



抽選で5名様に
「踊り子温泉会館入浴券」
プレゼント!!

アンケート回答者の中から抽選で、5名様に「踊り子温泉会館入浴券」を差し上げます。

なお、当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

お名前（任意）
ご住所（任意）
連絡先（任意）

無記名でも回答いただけます。ただし、プレゼントの対象にはなりません。

お寄せいただきましたご意見・ご感想は、議会だよりで紹介及び議員内で共有させていただく場合があります。また取材や原稿依頼等をさせていただく場合は、広報常任委員会から改めて連絡いたします。回答いただいた個人情報は、ご本人の許可なく外部に提供することはありません。

議会事務局 TEL0558-34-1957

FAX 番号 0558-34-1405
E-mail:gikai@town.kawazu.lg.jp

～私の一言～



「活気ある町を 田指して」

昨年5月に河津町商工会青年部長に就任し、早くも町は河津桜まつりに向け、活気づく季節となりました。青年部では、講習会や視察研修、伊豆地区青年部との交流を通じ自社や地域の未来につながる学びを重ねてきました。交流の中では、人口減少や地域課題など厳しい現状も共有されました。そのような中、将来の事業者育成を目的に、小学生向けの仕事体験事業を継続しています。体験をきっかけに工業系大学へ進学する子どもの話もあり、大きな励みとなりました。

今後も仕事体験、町のイベントに積極的に参加し、次世代の若者が帰って来られる様、取り組んでまいります。



河津町・東伊豆町・南伊豆町商工会青年部 交流事業での河津浜海岸清掃活動



河津の街に賑わいを 軽アラ市から

平成25年から始まった「河津寄って軽トラ市」は、地域の賑わいの創出を目的に、 笹原・姫宮通りにて年4回開催しています。昨年12月の開催は雨天にもかかわらず、多くの方に来場・出店していただきました。また、河津町内のみならず、近隣の市町からの来場・出店も増え、回を重ねるごとにこの軽トラ市が定着している感じであります。

この軽トラ市では、出店者の商品や実店舗のPRの機会だけでなく、太鼓やキッズダンスの披露の場を設けてきました。今後もこれらを通じて、地域の活性化や世代を超えた人々の交流に繋げていきたいと思っています。

次回3月の開催は、節目の第50回を迎えます。多くの町民の方のご来場をお待ちしております。



軽トラ市のトントンコーナー

予定です。	次回定例会は3月開催	委員長 渡邊昌昭	常任委員会 正木誠司
		副委員長 福沢宏幸	
		員 北島正男	
		桑原猛	

今回の議会だよりは河津寄つて軽トラ市 の関連記事が多く、また議会では出張・河津町議会を計画しているので皆さまの声をお聞かせいただきたい。

新町長で迎えた初議会であった。補欠選挙で仲間になつた福沢議員が残念ながら体調を崩し、欠席となつた。全員揃うのは3月議会に持ち越しとなつた。皆さんも体調には気を付けて、ぜひ全員揃つた議会を傍聴していただきたい。

編集後記